



係活動の幅を広げる意味から、他の学級の情報を流していくことも大切です。何気ない顔をして、「〇年生では、こんなことやってたよ」などと話しかけるといいですね。もちろん、係の活動内容は、その学級の実態をよく見て、2年生でもできそうな係限定で紹介してください。

(3) ネーミングを工夫させる。

ありふれたものではなく、子どものアイディアあふれる名前をつけさせてみてください。「遊び係」より「休み時間みんな元気係」, 「飾り係」より「季節を感じる飾り係」の方が活動に活気が出てくると思いませんか。

子どもたちの発想はかなりユニークです。

(4) 活動計画を立てさせる。

どんなことをいつしたいのか、各係ごとに色画用紙などに書かせ、掲示してあげましょう。活動計画は、より具体的な方がよいようです。

活動計画に書かせたいのは、「係の名前」「メンバーの名前」「活動の内容」「みんなへのお願い」くらいでよいと思います。2年生でこのような活動を経験させておくと、中学年以上での係活動や高学年での委員会活動で力を発揮できるようになります。

---

## 2 学級イベントは学級のまとまりと学級文化をつくる！

山陽小野田市立高千帆小学校 能勢雅子

---

「学級は楽しいところであってほしい」「たくさんの友達と関われるようになってほしい」「学級目標などに向けて協力する学級になってほしい」「学級は一人一人の心地よい居場所となってほしい」・・・など学級や子どもたち一人一人への願いがたくさんあるのですが、このことを言葉で「楽しくしよう」「協力しよう」「みんなとなかよくしよう」などと言っても、なかなか実現できません。しかし、イベント活動にはそのような願いを実現させていく要素があると思います。

最近の子どもは、仲のよい人とは関わるけれど、そうではない人には無関心という傾向にあると思うのは私だけでしょうか？また、手をつないだりタッチをしたり、ふれあうことを好まない子どもが増えてきているようにも思います。

そこで、4月5月に（これからでも大丈夫です）、教師が休み時間などにふれあいゲームや遊びをたくさん行います。また、遊び係にこんなゲームや遊びがあると教えたり、集団ゲームの本を教室の学級文庫の中に準備したりします。イベント活動を重ねることにより子どもたちの関わり合いが深くなり、お互いを理解し合うようになります。また、イベント活動に参加する中で協力する楽しさも体感することができるようになります。

私は、イベント活動を次のような3つのタイプで実施しています。

### (1) 自由参加型イベント活動

言い出しっぺ（やりたい人）や係が企画してクラスの全員に呼びかけ、参加できる人が参加します。主な活動時間は休み時間や給食時間などです。

教師は、「自分が企画したとき参加者が少なかったら、さみしいのでできるだけ参加しようね」とみんなに参加を呼びかけます。参加できるときには参加して、いっしょにイベント活動を楽しみながら、子どもたちのよさや人間関係を観察します。

### (2) 学級活動の話し合いによりみんなで計画して行う全員参加型イベント活動（学級集会）

言い出しっぺ（議題の提案者）や係などが学級活動の時間や朝の会などでの話し合いで提案し、みんなで計画して行う学級集会です。学級活動の時間に行うこともありますし、休み時間などに行うこともありますが、全員参加です。

### (3) 学習の発展として教師が計画して行う全員参加の学習イベント活動

学習の発展として、教師が企画し教科の時間に行います。漢字や九九、県名と特産物などをゲームにして行う全員参加のイベント活動です。これは後に子どもたちの企画に変わっていくことが多いです。

――＊――＊――＊――＊――＊――＊――＊――＊――＊――

## 1 自由参加型イベント活動例

< 言い出しっぺによる「川わたりゲーム」 > … 昼休み時間に実施

- (1) 縦10メートルくらい、横20メートルくらいの川をかきます。
- (2) おには最初一人で、赤帽子をかぶり、川の中に入ります。
- (3) 川の片方の岸におに以外の人が並びます。
- (4) おにの「よーい、どん」の合図で、岸に並んでいた人は、川を渡って反対の岸に行きます。
- (4) おには、川をわたる人をつかまえます。つかまった人は赤帽子に変えて、おにになります。
- (5) 川わたりを何回も繰り返し、最後まで残った人がチャンピオンです。

\* 楽しみながら、スキンシップができます。

\* 高学年になると、おに同士ではさみうちをするなど協力して楽しむこともします。

☆ 学級文庫に置いた「グループあそび」竹井史郎著：小峰書店の本から、子どもたちが見つけて実施しました。教師が意図的にゲーム本を広げて、さりげなく「学級文庫の〇〇本の～ゲーム、おもしろそう！」と言うと子どもたちがよってきます。「やってみる？」という「、何人かで一緒に言い出しっぺしてもいい？」と聞くことが多いです。こうなったらしめたものです。「先生もぜひ、やってみたいなあ！わからなかったら、聞きにきてもいいよ。」と話します。

<係による「イントロクイズ」>…昼休みの時間

(1)曲の出だしを聴いて、曲名を当てます。

(2)曲名が当たったら、みんなでその曲を歌って楽しめます。

\*曲名が当たらなくても、みんなで歌うので楽しめます。

☆音楽の時間に、曲の出だしをかけて何の曲かを当てて、みんなで歌っていたのがおもしろかったので、遊び係が昼休みに企画しました。高学年になると、歌謡曲のCDをかけたがります。生徒指導上の留意とCDの破損などを考慮して、イントロクイズ用に学校にCDを持って来る場合は教師が預かっておきます。

<言い出しっぺによる「だるまさんが泣いたよ、笑ったよ」>…全員が給食を早く食べ終わったとき

(1)リーダーがみんなの前で背を向けて「だるまさんが泣いたよ」と10数えます。

(2)みんなはかぞえている間だけ、ふつうの顔ができます。リーダーが振り向いた時には、泣きまねをし続けなければなりません。

(3)リーダーが「だるまさんが笑ったよ」といって振り向いた時には、笑い続けておかなくてははいけません。

(4)泣いていない顔や笑っていない顔をリーダーに見つかりとアウトで、リーダーを交代します。

(5)「だるまさんが泣かないよ」「だるまさんが笑わないよ」などと反対言葉を言ってひっかけるのも楽しいです。

・どの学年でも簡単にでき、楽しめます。

☆授業の終わりに気分転換で実施したのがおもしろかったのか、給食を全員が食べ終わって時間のあつたとき、言い出しっぺが行うようになりました。これは楽しいので、みんなが参加します。

<言い出しっぺによる「エス・ケン」：昼休みの時間>

(1)参加者は2チームに分かれます。おにを各チーム一人決め、赤帽子をかぶります。おには、両足で動けます。

(2)地面にSの字を大きく描きます。Sの曲がっている半円の中(陣地)にチームの宝(木ぎれや小石など)を置きます。

(3)陣地以外のところに、各チームで休憩島の円を一つ描きます。この休憩島では5秒だけ両足でお休みができます。

(4)陣地と休憩島以外はケンケンでしか動けません。ケンケンの足は途中で変えてもよいですが、両足がついたら、アウトです。また、動く方向はSの字形に沿って時計回りの一方方向にしか動けません。

(5)自分の陣地から、スタートしておににタッチされないように相手の陣地までケンケンでいき、相手の陣地の宝をとったら勝ちです。

(6)おににタッチされた人は、相手の陣地に行って待たなくてははいけません。仲間がうまくタッチして、ケンケンで陣地に帰ることができたら、生き返ることができます。

・チームワークが大切なので、子どもたちは作戦を練って楽しめます。  
☆この遊びは、ある学校で流行っていた遊びで、子どもたちに教えてもらいました。

---

### 3 メルマガ情報交換広場

---

山口県阿東町の先生から学級目標づくりの情報です。

そろそろ5年生の生活にも慣れてきた5月下旬。どんな自分を目指したいのか、そのためにどんなクラスにしていきたいのかを話し合いました。目指したい自分は、それぞれ「信頼される人」「もっと楽しい人」「やりとげる人」「チャレンジする人」「おもしろい人」「目標を実行する人」とのこと。どんなクラスにしていきたいか合い言葉を出し合ったところ、「こころ」「ベスト」「一歩前進」「苦あり楽あり」…など20近くの言葉があがりました。そこから約10個の言葉まで絞ることができたのですが、それ以上はどの言葉にも意味や思いがあり、一つに絞ることができません。さてどうする…。

そこで思いついたのが、「クラスの四字熟語をつくろう！」というもの。意味の似た言葉同士で4つのグループをつくり、それぞれを漢字1字で表しました。

そうやってできたのが「想力進笑」。

それぞれの漢字には、

「想」…「目標をおもいえがく・相手のことを考える」

「力」…「力いっぱい・力をつける」

「進」…「目標へ一歩ずつ進む」

「笑」…「楽しみながら挑戦して、達成して喜べる」という意味がこめられています。

クラスのシンボルとして、「想力進笑」のモビールを作りました。枝を拾ってきて切る人、「想」「力」「進」「笑」のカードを作る人、カードの裏にそれぞれの漢字に込められた意味を書く人、シンボルカラーの花を作る人に分かれて協力して作業をしました。モビールが完成し教室につるすと、風に乗ってゆらゆらくるくる。「やったー！できた～！」とうれしい歓声があがりました。

---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---

今年の「学級目標」募集！

今年の学級目標を教えてください。学級目標とそれにかかわるエピソードや学級目標の意味などを送ってください。

「子どもが本気になった係活動」募集！

これまでつくられた係で、子どもたちが本気になって取り組んでいる係活動を教えてください。係の名前と活動内容を募集します！

~~~~~

このメルマガを使って、学級作りについての情報交換をしませんか？  
学級目標・係活動以外に、情報交換したいテーマがありましたら、下記アドレス  
までメールでお知らせください。  
☆ sugi-net@c-able.ne.jp

-----

#### 4 メルマガ編集部からのお知らせ

-----

##### ◆次号の予告◆◇◆

第8号は6月下旬ごろ発行予定です。  
次号では、「 」について紹介する予定です。

##### ◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は70名です。もっともっとメルマガ仲間を増やしたいと思います。  
お知り合いの方にこのメルマガを紹介してもらえませんか。  
登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。  
url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン  
☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで  
☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部  
梶田崇晴（山口市立平川小） 津村元文（防府市立西浦小）  
能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小） 吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====